

審査した案件と結果

知事提出の議案

・予算……3件(可決)・人事……3件(同意)
・条例……5件(可決)・専決……16件(承認)
・事件……5件(可決)

可決された意見書

○地方財政の充実・強化を求める意見書
○国土強靱化の計画的かつ着実な推進を求める意見書
○非核三原則の堅持を求める意見書
○北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書
○皇室の伝統に基づく安定的皇位継承を確保するための法整備の早期実現を求める意見書

議員等提出の案件

・議員派遣……2件(可決)
・意見書……5件(可決)
・決議……1件(可決)

可決された決議

○「長崎県議会議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例」に係る決議

〈議長就任あいさつ〉

長崎県議会議長にご選任いただきました徳永達也でございます。
本県では、人口減少対策をはじめ、長引く物価高騰への対応、離島・半島地域の振興、さらには九州新幹線西九州ルートの整備促進など、多くの課題が山積しております。こうした状況の中、県当局と力を合わせ、諸課題の解決に全力で取り組み、長崎県を着実に前に進めるべく、誠心誠意、努力してまいる所存でございます。
今後とも、なお一層のご指導、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

徳永 達也

ながさき

県議会だより

6月定例会

令和8年6月定例会が開催され、活発な論議が交わされました。

令和8年6月定例会が6月15日から7月9日まで開かれました。定例会初日は、平田知事初の本格予算である「令和8年度長崎県一般会計補正予算(第2号)」などの議案が上程され、平田知事が県政の重要事項について報告し、当面する諸課題について所信を述べるとともに、提出議案について提案理由の説明を行いました。一般質問では、16名の議員が登壇し、知事の政治姿勢、土木行政、医療行政、県庁跡地整備、出産・子育て政策、中小企業支援、離島振興、スポーツ振興、県立高校の再編整備など様々な事項について活発な論議が交わされました。

補正予算については、平田知事が掲げる「地域経済の基盤をつくる」、「地域を残していく」、「未来を担う人材を育てていく」の3つの柱に沿って位置付け、各種施策を重点的に推進するための経費として編成された「令和8年度長崎県一般会計補正予算(第2号)」などが閉会日の本会議で可決され、合計で一般会計747億7,555万2千円の増額補正となりました。

本定例会では、34件の議案を原案のとおり可決、同意、承認することにも、「地方財政の充実・強化を求める意見書」など5件の意見書及び「長崎県議会議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例」に係る議員の数の数に可決し、閉会しました。

一般質問

録画中継へのリンクはこちら

会計年度任用職員の処遇改善について

堤 典子 (佐世保市・北松浦郡/改革21)

【質問】会計年度任用職員の不安定な雇用状況、報酬や休暇制度などの処遇面を正規職員と同様に改善することが重要と考え、県の見解は。
【答弁】継続雇用の取扱いには、労使合意に基づくものであり、国に準じて変更するのではなく、課題を踏まえ労使間で丁寧に議論し決定すべきと認識している。報酬や休暇制度は改善しているところであり、今後も動向を注視しつつ処遇改善の議論を進めてまいりたい。

録画中継へのリンクはこちら

島原市医師会看護学校への支援について

大場 博文 (島原市/自由民主党)

【質問】一定員割れが発生し、経営が厳しくなっている島原市医師会看護学校について、支援の継続・拡充を要望したいが、県の見解は。
【答弁】県内看護職員の確保と養成所の安定的運営を図るため、昨年度から補助金を一部見直しへき地加算を追加するなど、支援を拡充した。将来にわたって安定した医療提供体制を確保する観点から、引き続き、島原半島3市や関係者と協議を行うていく。

録画中継へのリンクはこちら

公共事業評価監視委員会(長崎南環状線事業関連)について

中山 功 (長崎市/自由民主党)

【質問】長崎南環状線の事業期間について、公共事業評価監視委員会において、当初の令和12年度から、4年間延長されたが、早期開通を待ち望んでいる地域住民のため、令和12年度開通に向けた知事の決意は。
【答弁】完成時期を少しでも前倒しできるよう、残る用地の早期取得に取り組みとともに、その後の工事についても、工期の短縮に努め、早期の全線開通に向けて、最大限努力してまいりたい。

録画中継へのリンクはこちら

東彼杵町の工業団地整備について

溝口 芙美雄 (佐世保市・北松浦郡/自由民主党)

【質問】東彼杵町の工業団地整備に向けた協議の進捗状況とアンカー企業の誘致活動の状況について、お尋ねする。
【答弁】東彼杵町等との協議を踏まえ、7月以降に、地権者への説明や事業費精査のための現地調査を予定している。また、アンカー企業の誘致に向け、半導体関連企業などに対し重点的に提案活動を行っており、今後とも、団地整備を着実に進めながら、積極的な誘致活動に取り組んでまいりたい。

録画中継へのリンクはこちら

カスタマーハラスメント対策について

饗庭 敦子 (西彼杵郡/改革21)

【質問】カスタマーハラスメント対策として、基本方針の策定や相談窓口の設置などに取り組んでいるが、今後、根絶するためには、どのように取り組んでいくのか。
【答弁】職員を守り、良好な職場環境を整えるためには、カスタマーハラスメントに対する適切な対策を講じることが重要であり、電話対応時の録音機能の導入検討など、効果的な対策を講じ、職員が働きやすい職場環境の確保に取り組んでまいりたい。

録画中継へのリンクはこちら

都市計画道路破籠井鷲崎線の整備について

坂口 慎一 (諫早市/自由民主党)

【質問】都市計画道路破籠井鷲崎線のうち、未完成である小豆崎町から西米田町間の整備に向けた今後の方針は。
【答弁】現行の都市計画では4車線であることに加え、地形的な条件から高架橋が多く、多額の費用を要することが課題となっている。このため、今年度から設計業務の中で、現在の交通状況を踏まえた道路のあり方について検討を進め、都市計画変更の基礎資料の整理を行うなど、引き続き事業化に向けた取組を進めてまいりたい。

録画中継へのリンクはこちら

観戦型スポーツイベントの誘致について

千住 良治 (諫早市/自由民主党)

【質問】誘致の支援制度を創設している他県の事例も参考にしながら、観戦型スポーツの誘致に力を入れて取り組むべきではないかと考えるが、県の見解は。
【答弁】さらに誘致を拡大していくために、主催者の負担軽減につながる支援制度の創設が重要であると認識しており、他県の事例なども参考にしながら検討を進めていく。

録画中継へのリンクはこちら

県庁舎跡地整備について

前田 哲也 (長崎市/自由民主党)

【質問】県庁舎跡地整備について、予算計上の内容がこれまでの議会説明と違っている。これまでと違う視点や整備手法があるなら、知事の考えを伺いたい。
【答弁】県庁舎跡地の整備については、導入機能の議論に加え、長崎を象徴する場所にふさわしい上質なデザインについても並行して議論することで県民の理解を深め、質の高い整備と円滑な事業推進につながるため、設計を先行して実施したい。

録画中継へのリンクはこちら

魅力ある職場づくり推進補助金について

本多 泰邦 (長崎市/公明党)

【質問】魅力ある職場づくり推進補助金の内容、問合せ申請件数及び周知方法。
【答弁】県内中小・小規模事業者を対象に、職場環境の改善につながる設備導入等の取組を支援するもので、補助率は3分の2、補助上限額は300万円、6月19日までの申請件数は106件、問合せ件数は594件である。説明会の開催や業界団体への情報提供を行い、小規模事業者に対しては、商工会等を通じ制度を周知している。

録画中継へのリンクはこちら

県庁跡地整備の方針について

虎島 泰洋 (長崎市/自由民主党)

【質問】県庁跡地全体の活用を考えるうえで、隣接する旧ガソリンスタンド跡地は重要なエリアになると考えているが、現在の状況は。
【答弁】ガソリンスタンドは解体工事が行われており、工事完了後は、暫定的に時間貸し駐車場として営業する予定と聞いている。県庁舎跡地の南東部の石垣の頭在化や出島との一体感のある景観形成に大変重要な土地であり、引き続き、長崎市とも連携し、土地所有者と意見交換してまいりたい。

録画中継へのリンクはこちら

中核企業の育成・創出について

小林 克敏 (大村市/自由民主党)

【質問】国は、売上高100億円を宣言した企業に対して最大5億円の補助制度を用意するなど、企業の成長を強力に後押ししているが、県としても同様に具体的な目標を掲げて取り組む必要はないのか。
【答弁】100億宣言企業の増加が経済成長につながることを考えており、まずは、本県製造業の中核である造船関連分野において、今後3年間で新たに宣言企業を15社創出することを目指し、今年度から事業計画の策定や設備投資等への支援を実施してまいりたい。

録画中継へのリンクはこちら

県民の「県営バス」に対する期待とあり方について

大久保 堅太 (平戸市/自由民主党)

【質問】県営バスについて、現在の、部地域のみだけでなく、県全体の公共交通を支える政策的な使命を担う存在へと発展させることができないかと考えるが、知事の見解は。
【答弁】各地域の公共交通を維持するため、市町等とこれまで以上に連携しながら、更なる対策を一体となして進めていく。その中で県営バスの担うべき役割も含めて、幅広い観点から検討を進めていく必要がある。

録画中継へのリンクはこちら

長崎県立大学「恐竜学部」新設の提案について

大倉 聡 (長崎市/もったいない!長崎)

【質問】県立大学の学部・学科に長崎との親和性が高い恐竜を利用することで、県内の就職率の向上等につながるかと考えるが、知事の見解は。
【答弁】学部を新設する場合は、様々な課題があり、慎重な対応が求められる。恐竜をコンテンツとした取組としては、観光資源のほか、学びや教育など地域活性化につながる様々な活用が考えられるため、県として先行事例も含め、活用策の幅広い研究に努めたい。

録画中継へのリンクはこちら

県立大学サイバーセキュリティ人材育成に係る国防との連携

下条 博文 (長崎市/もっと身近な県政の会)

【質問】自衛隊など国の機関と県立大学情報セキュリティ学科の学生とを積極的にメンタリングさせることで、学生は自身の専門性を活かせる専門職に就き、国は人材を確保できる。双方にメリットがあると考えるが、県の見解は。
【答弁】情報セキュリティの専門知識を有する学生については、国の機関も含め、需要が高まっている。その専門知識が活かせる就職先の情報に触れる機会を積極的に提供するなど、県立大学の取組を進めていく。

録画中継へのリンクはこちら

出産、子育てしやすい長崎県にするための課題認識と知事の決意

赤木 幸仁 (長崎市/改革21)

【質問】知事は、出産、子育てしやすい長崎県を実現するうえで、課題をどのように認識し、どのような決意で取り組まれるのか。
【答弁】子育てを取り巻く環境は大きく変化しており、今後は行政の取組だけでなく、地域社会全体で支えていくことが重要になると認識している。ことども、私たちは長崎の未来を担う力がある存在であるため、地域社会全体で大切に守り育てながら、県民の皆様とともに取り組んでまいりたい。

録画中継へのリンクはこちら

石木ダムの建設促進

田中 愛国 (佐世保市・北松浦郡/自由民主党)

【質問】石木ダムの建設について、用地問題や裁判による法的な問題は解決済みであるとの認識でいるが、この事業に対する知事の決意は。
【答弁】石木ダム事業の推進に当たり、地元住民との対話を丁寧に行っていくことが大切であると考えている。また、有識者から意見を聞くことも意味があると考え、7月12日の「有識者の意見を聞く場」の開催に向けた準備を進めている。今後とも、丁寧に事業に取り組んでまいりたい。

常任委員会

予算決算委員会

委員長／石本 政弘

【質問】長崎県私立高等学校入学金支援事業費補助金に関し、令和9年度入学生からの実施であるが、今回6月定例会で予算計上した理由は何か。また、支援の内容や申請手続はどのようなものか。
【答弁】入学前の保護者負担軽減を目的に、学校が入学金をあらかじめ減額し、その減額分を県が補助する仕組みとしている。来年度入学者向けの学校説明会等が始まっており、制度の周知期間を確保するため、この時期に計上した。補助額は保護者負担額に応じて上限3万円とし、負担がない場合は対象外となる。申請手続については、既存書類を活用し、学校と調整しながら円滑な運用を図ってまいりたい。
【主な論議事項】ながさきXプロジェクト費/持続可能な地域循環型社会づくり推進事業 等

農水経済委員会

委員長／富岡 孝介

【質問】新規就農者の確保に関し、第3期ながさき農林業・農山村活性化計画において、毎年313名の新規就農者確保を目標としていたが、令和7年度の実績はどのようなものか。
【答弁】235名の新規就農者を確保しており、その内訳は、新規学卒者20名、他産業からの就農者186名、県外からのUターン者16名、Iターン者13名である。ファストパス窓口の設置やオンラインセミナーの開催など、相談から就業まで一貫した支援を行ってきたが、社会全体の人手不足などの影響もあり、目標達成には至らなかった。今後は、産地の魅力発信を強化していく必要がある。
【主な論議事項】石炭火力発電の存続等に向けた取組/赤潮発生への対応 等

観光生活建設委員会

委員長／山村 健志

【質問】「長崎県パートナーシップ宣言制度(案)」に関し、県の制度導入後、県内市町及び県外自治体との連携はどのように行われるのか。
【答弁】既に独自制度を導入している県内3市町とは、宣言書受領証の相互利用に向けた連携協定の締結を進めるとともに、制度未導入の市町についても、県の宣言書受領証を活用して各種サービスが利用できるよう連携を図ってまいりたい。また、県外自治体との間でも、転入・転出時ににおける宣言手続の一部省略など、当事者の負担軽減につながる連携を進めてまいりたい。
【主な論議事項】石木ダム建設/軽油価格の高騰に伴う経営への影響 等

文教厚生委員会

委員長／中村 俊介

【質問】県立高校の再編に関し、離島・半島地域では公共交通機関の減便等が進む中、再編整備による通学距離の増加が懸念されるが、どのように対応していくのか。また、再編整備に関する説明会はどのように実施していくのか。
【答弁】離島・半島地域では、通学距離の増加や公共交通の不足が課題と認識している。このため、関係機関と連携し、国の交付金の活用や複数校でのスクールバス運行の検討など、通学手段の確保に取り組んでいきたい。また、再編整備については、市町長や教育長、学校関係者、PTA等への説明を行うとともに、来年度は地域ごとに意見交換の場を設け、地域の意見を伺いながら検討を進めていきたい。
【主な論議事項】県立大学生の県内就職/ドクターヘリの運航 等

総務委員会

委員長／初手 安幸

【質問】県庁舎跡地活用に関し、基本設計を先行して実施する手法に見直したことで、令和12年度の完成予定に影響はあるのか。また、今回の見直しを踏まえ、今後、関係者との意見交換はどのように進めていくのか。
【答弁】完成予定に大きな変更が生じないよう取り組む。また、現在、スケジュールを検討中であり、秋頃までに改めて示したい。意見交換については、基本計画を策定する秋までに長崎市など関係者との協議の場を設けるほか、設計者決定後もワークショップを開催するなど、幅広く意見を伺いながら丁寧に進めてまいりたい。
【主な論議事項】県北振興局庁舎再整備/県南振興局庁舎建設 等

議長記者会見

7月9日、定例会終了後に議長記者会見を行いました。

徳永達也議長は、県当局と協力し、本県の課題の解決に全力で取り組み、長崎県を着実に前に進めるべく、努力していきたいとの抱負のほか、定例会を終えての所感、本県議会の取組について述べたのち、平田知事の本格予算への評価、九州新幹線西九州ルートの整備、広島県議会との交流などについて、記者からの質問に答えました。

主権者教育

県議会では、「主権者教育」の一環として、議員による講演・意見交換を実施しています。5月12日には県立大学佐世保校で千住議員が、5月19日には佐世保北高校で外間議長が、5月27日には長崎女子短期大学で川崎議員がそれぞれ講演に立ち、議会の仕組みや議員の活動を分かりやすく紹介しながら、政治へ関心を持つことの意義を伝えるとともに、積極的な投票参加を呼び掛けました。

「長崎県議会議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例」に係る決議(県議会議員定数等調査特別委員会)

本県では、人口減少が進む一方、多くの離島・半島地域を有する地理的特性に鑑み、議員定数のあり方については慎重かつ十分な検討が必要である。また、人口減少を踏まえた選挙区制度の見直しが議論されているなか、令和9年の一般選挙までに十分な検討を行うには時間的制約が大きく、島原半島地域の代表性への影響も考慮し、今回は現行の選挙区及び議員数を維持する。しかし、本県議会としては、令和13年の一般選挙への確実な反映を見据え、令和12年の国勢調査の結果を待つことなく、選挙区及び議員数のあり方を含む議員定数の抜本的な見直しについて積極的に検討を進める。

以上の内容を決議しました。

お知らせ

動画配信

本会議・委員会の中継・録画配信を行っています。一般質問の表題横の二次元コードから各議員の一般質問の録画にアクセスできます。

ホームページ・会議録

会議録全文を掲載しています。
○平成8年2月～令和8年3月定例会の本会議・常任委員会
○平成24年4月～令和8年4月分の特別委員会
※本会議・委員会は、原則として誰でも傍聴できます。

長崎県議会 検索

会議録検索システムへのリンクはこちら

公式SNS

県議会公式SNS
(X(旧Twitter), Facebook)
はこちら→

X (旧Twitter)

Facebook

次回定例会

次回定例会は、令和8年9月7日(月)に開会予定です。

テレビ放送

「県議会リポート」 令和8年8月1日(土) 15:55～16:25 NCC長崎文化放送 5ch

提供/長崎県議会 お問合せ先/議会事務局(政務調査課) Tel.095(894)3634